

皇學館大学伊勢学舎の取組

平成21年度の取組と成果

1. 新型インフルエンザを含む感染症拡大防止
新型インフルエンザに対し、保健所・学校医と相談し学内に対策本部を設け、対策マニュアルを作成した。感染者への対応や配慮を保証人に郵送し、学生にはメール配信を行い、大学ホームページに掲載し感染時の連絡を徹底し、感染状況を把握した。手指消毒器の増設やマスク着用の奨励を行い、マスクや手指消毒液等衛生用品の備蓄を行った。職員についても、産業医と相談の上、マスクの着用を奨励するなどの措置を講じた。感染者の報告は8月から始まり、11月下旬を境に沈静化した。
麻疹の罹患報告は無かった。
2. 学生健康診断を受ける人の増加
学生数は増加したが、健康診断受診期間を調整し混雑の解消を図った。各指導担当者と連携し受診の啓発を行い、健康診断への関心が高まり受診率が維持できた。
3. 学生生活が健やかに送れる人の増加
健康診断の待ち時間を利用し、「薬物乱用防止」啓発DVD、「禁煙指導」DVDを上映し、好評を得た。
新入生に対し、三重県警察本部より講師を派遣していただき「薬物乱用防止」講演を実施した。
健康支援料理教室（ヘルシークッキング教室）を開催した。
4. 時間外勤務の縮減
次の目標を立て、取り組んだ。
前年度削減目標を達成できた部署は、前年度実績時間を上限
前年度削減目標を達成できなかった部署は、前年度実績時間から10%削減結果、大半の部署が達成した。

平成22年度に取り組む数値目標

1. インフルエンザを含む感染症発生時の集団感染予防
2. 学生生活が健やかに送れる人の増加
3. 引き続き、時間外勤務の縮減に取り組む。

目標達成に向けた取組の内容

1. 感染症について
昨年度に続き、手指消毒器の常設。
入学予定者に対し麻疹ワクチンの接種奨励を行い、麻疹ワクチンの接種報告書（任意）の提出を行う。
学外実習対象者への麻疹抗体検査の実施とワクチン接種を奨励する。
2. 大学行事と健康診断実施日を調整し、より受診しやすい環境を整える。また、各指導担当者と連携し受診の啓発を行う。
健康診断結果より、有所見者の健康状態の改善を支援する。
健康診断の待ち時間を利用して、「薬物乱用防止」などのDVDを使った啓発教育を行う。
また、「性感染症」や「薬物乱用防止」に関するパンフレットを配布する。
引き続き今年度も新入生に対し、三重県警察本部より講師を派遣していただき新入生に対して、「薬物乱用防止」講演を実施する。
「ヘルシークッキング教室」と題した健康支援料理教室を開催する。
3. 時間外勤務の前年度実績から5%縮減を目標とし、業務内容の見直し、職員の意識改革などに取り組む。